

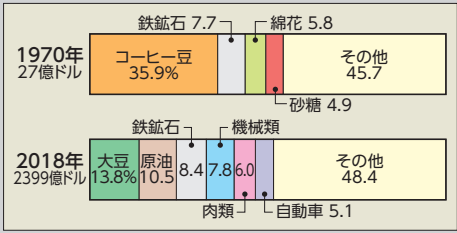
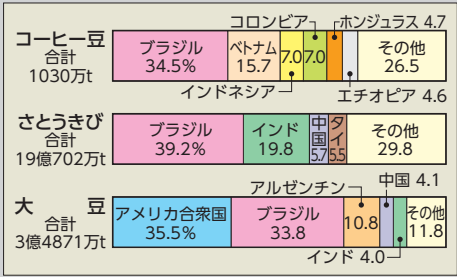
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.114-115 大規模化する農業と成長する工業
2. 目標
 - (1) 南アメリカ州の農業や工業の発展の特色を、広大な国土と豊かな資源から理解することができる。
 - (2) 農業や工業の発展が南アメリカ州の経済に与えた影響について、多面的・多角的に考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ 農業や工業の発展の特色について、さまざまな資料を活用しながら理解している。
思考・判断・表現	・ 南アメリカ州の産業が世界に与えている影響や、発展の一方でスラムが発生して貧富の差が拡大していることなどを、多面的・多角的に考察し、表現している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「大型機械を使ったコーヒーの実の収穫」と「手作業でのコーヒーの実の収穫」を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 収穫の様子が変化してきた理由を予想し、学習課題への見通しを持つ。	  p.114 1 p.114 2 1998年と2010年の収穫を比べると、どのような変化がみられるだろうか。 コーヒー豆の収穫作業が変化したのはなぜだろうか。	○ コーヒーの実の収穫作業の写真を見せながら、本時への導入を図る。 ○ 収穫作業の変化とその理由を予想させ、自由に発表させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
	学習課題：南アメリカ州の国々で、産業に変化がみられるようになったのはなぜだろうか。		
展開	3. 南アメリカ州の国々の産業の発展について理解し、要因を考察する。 (1) ブラジルの輸出品の変化	 p.114 3 ブラジルの輸出品目の変化についてまとめよう。  p.114 4 大豆やさとうきびはどのように使われているだろうか。	◆ かつてのブラジルはコーヒー豆に依存したモノカルチャー経済の国であったが、現在は工業製品の輸出が増えていることに気付かせる。 ◆ 品種改良が進んだことで、大豆は以前よりも栽培できる地域が広がったことを理解させる。 ○ 資料から、大豆やコーヒー豆は南アメリカ州の国々の生産量が多いことに気付かせる。 ◆ 大豆やさとうきびは、飼料やバイオ燃料の原料など、食用以外にも幅広く使われていることに気付かせる。

(2) 豊かな鉱産資源

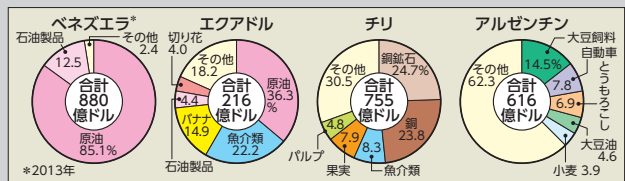


地図帳 p.69 ②

国名	主な鉱産資源
ブラジル	(例) 鉄鉱石、原油、ボーキサイト
ベネズエラ	原油、天然ガス、鉄鉱石
チリ	銅、鉄鉱石、リチウム
エクアドル	原油

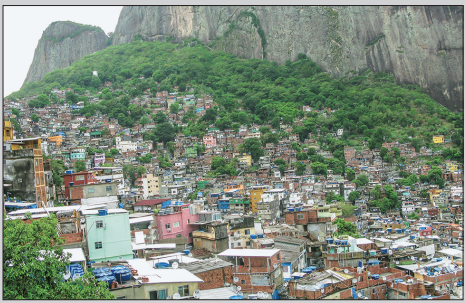
ブラジルやチリなどで産出される主な鉱産資源を調べよう。

(3) 主な輸出品



p.115 7

グラフから気付いたことを挙げてみよう。



p.115 9

ブラジルの都市にスラムが形成されたのはなぜだろうか。

4. 産業の発展に伴う課題について理解する。

○ 学習プリントを活用し、南アメリカ州の主な鉱産資源をまとめさせる。

◆ ブラジルの鉄鉱石やチリの銅など、鉱産資源に恵まれていることに気付かせる。

○ 資料から、南アメリカ州の各国の輸出品について考えさせる。

◆ 鉱産資源や農産物の輸出に頼る国もあることに気付かせる。

○ スラムが形成された背景を考えさせる。

◆ 工業化に伴う急激な人口増加によってスラムが形成されたことを考察させる。

○ 農業の機械化が進むと、農村では仕事を失う人が多くなることに気付かせる。

○ スラムの問題点を整理し、解決のために何が必要かを考えさせる。

5. 本時のまとめをする。

ブラジルの輸出農産物の種類が増えたり、工業化が進んだりした背景について、説明しよう。

6. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

◆ ブラジルでは、土壌や品種の改良で農産物の種類を増やしたり、外国企業の受け入れで工業化を進めたりして、モノカルチャー経済が変化してきたことを説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。